

第7章 取組シート

1 取組シート

ここでは、取組の内容や、年度計画、担当課などを「取組シート」の形にしました。

○取組シートについての凡例

体系番号・・・第6章の区分けに対応。

現況・・・・・・・・取組の背景となる現在の状況。

評価・・・・・・・・現状とあるべき状態との比較。

今後の方針・・・この内容に添って、取組を実施。

推進・・・・・・・・計画に向かって取組を進めること。

調査・・・・・・・・取組を行うために必要な事項を詳しく調べ、内容を明らかにしていくこと。

実施・・・・・・・・取組を実際に執り行うこと。

継続・・・・・・・・その状態を続けること。

取組番号						
1	取組名「子どもブックリスト」の提供			体系番号		1-(1)-① 1-(2)-① 1-(3)-①
	基本目標 子どもが本と出会うきっかけ作り					
	内容 図書館は、子どもの年齢に合う、お薦めの本を集めた「子どもブックリスト」を作成し提供する。					
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	「みんなでよもうこどもの本」を定期的に発行 「あかちゃんと楽しむ絵本」 「ひだまりだっこでおやこあそび」などのパンフレットを配布		年齢別リスト等も作成する必要がある。		年齢に合わせた「子どもブックリスト」を作成していく。	
年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
	検討	配布	配布	配布	配布	
担当課	図書館			関連課		

2	取組名 読書啓発資料の配布			体系番号		1-(1)-② 1-(2)-②
	基本目標 子どもが本と出会うきっかけ作り					
	内容 図書館は、児童向け新刊リストと保護者に向けた読書啓発文などをいっしょに組み合わせた読書啓発資料を、小学校を通じて全児童(23736人/2009年12月現在)に配布する。幼稚園・保育園版についても、検討する。					
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	図書館では「みんなでよもうこどもの本」を各小学校に40部、総集編を20部ずつ配布。		家庭へのPRが不足している。		読書啓発資料を作成し、小学校で配布する。幼稚園・保育園版についても、検討する。	
年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
	検討・作成	配布	配布	配布	配布	
担当課	図書館			関連課	学校・子ども総務課・子育て支援課	

3	取組名	ブックスタート事業の充実			体系番号	1-(1)-③
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	図書館と健康課とボランティアが、協力して健診時等に絵本のリスト配布や読み聞かせの充実を図る。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	ブックスタートパンフレットの配布と乳幼児向けおはなし会の実施。		乳幼児健診時等に絵本へのきっかけ作りの取組が必要。		図書館と健康課とボランティアが、協力して健診時等に絵本のリスト配布や読み聞かせの充実を図る。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		検討	検討	実施	実施	実施
担当課	図書館		関連課	健康課		

4	取組名	地域での乳幼児向けおはなし会			体系番号	1-(1)-④
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	各施設は、乳幼児向けおはなし会を継続するとともに、地域へのPRを図る。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	保育園、幼稚園、学童クラブ、子どもセンターでは、市民に向けた「幼児向けおはなし会」が行なわれている。		市民へのPRが不足している。		おはなし会の継続と地域へのPRを図る。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		充実	充実	充実	充実	充実
担当課	子ども総務課(幼稚園)・子育て支援課(保育園)・児童青少年課(学童保育クラブ)		関連課	図書館		

5	取組名	子どもの新刊図書案内「みんなでよもう子どもの本」の充実			体系番号	1-(1)-⑤ 1-(2)-③
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	図書館の子どもの新刊図書案内「みんなでよもう子どもの本」をより充実させていく。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	「みんなでよもう子どもの本」は、年4回3000部発行。総集編は年一度1800部発行している。		「みんなでよもう子どもの本」の発行継続と更なる活用が望まれる。		「みんなでよもう子どもの本」の充実と総集編の有効活用を図る。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		充実	充実	充実	充実	充実
担当課	図書館			関連課	子ども総務課(幼稚園)・子育て支援課(保育園)・学校	

6	取組名	図書館のおはなし会とブックトークの充実			体系番号	1-(1)-⑥ 1-(2)-④
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	ボランティアと協働して、図書館で行われているおはなし会とブックトークの充実を図る。開催時間や開催曜日等を検討する。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	各図書館でおはなし会が行なわれている。		子どもが参加しやすいように工夫が必要。		おはなし会の充実を図る。開催時間や曜日の変更、追加を検討する。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		検討	実施	実施	実施	実施
担当課	図書館			関連課		

7	取組名	移動図書館「そよかぜ号」の活用			体系番号	1-(1)-⑦ 1-(2)-⑤
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	移動図書館「そよかぜ号」を利用し、学校等の訪問を行なう。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	一部の学校で実施したところ、子どもたちの反応もよく、その後「そよかぜ号」の貸し出しも伸びた。		「そよかぜ号」が、子どもたちを本との出会いへ導くPR手段として有効である。		「そよかぜ号」による学校や施設訪問を増やす。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		検討	実施	実施	実施	実施
担当課	図書館			関連課		

8	取組名	子どもに関わる施設の図書資料の充実			体系番号	2-(1)-① 2-(2)-① 2-(3)-① 2-(4)-①
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	子どもに関わる施設(保育園・幼稚園・学童保育クラブ・子どもセンターなど)は、図書館の団体貸出や、再利用本受け入れなどにより、資料の充実を図る。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	施設の本を充実させたいとの声が多い。		各施設と町田市の各担当課や図書館が協力し合い、充実を図る必要がある。		関係者が協力して、施設資料の充実を進める。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		実施	実施	実施	実施	実施
担当課	子ども総務課(幼稚園)・子育て支援課(保育園)			関連課	図書館・児童青少年課(学童保育クラブ)	

9	取組名	町田市ひなた村創作童話コンクール			体系番号	1-(2)-⑥ 1-(3)-② 1-(4)-①
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	ひなた村は、市内在住・在学の小中高生から作品を募集し、創作童話のコンクールを行なっている。今後更に各施設や学校と連携をはかって、今以上に市民に浸透させていく。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	公の学校外教育施設が、子どもが書く童話コンクールの主催をしている例は少ない。97年第一回から通算4053編の応募があった。		子どもが本と出会うきっかけ作りになっている。さらに市民への浸透を図る必要がある。		市内の施設や学校・教諭との連携をすすめ、コンクールの拡大を図る。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		実施	実施	実施	実施	実施
担当課	ひなた村			関連課	学校	

10	取組名	学校向け利用案内「あ・る・と」「く・る・と」の改訂			体系番号	1-(2)-⑦ 1-(3)-③
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	学校教員向け図書館利用案内「あ・る・と便利な資料編」、調べ学習で図書館を有効に使うための「く・る・と便利な図書館利用案内」を改訂する。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	「あ・る・と」「く・る・と」を各校に配布している。		内容について改訂が必要である。		内容を見直し、事例集なども盛り込むなど、より実用的なものに改訂していく。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		検討	検討	一部改訂	配布	配布
担当課	図書館			関連課	指導課・学校	

11	取組名	「一日図書館員」の実施			体系番号	1-(2)-⑧ 1-(3)-④ 1-(4)-②
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	夏休み期間中に、一回に5名から6名の小中高生を対象に、一日かけて図書館業務を体験してもらう。				
	2009年3月までの現況	評価		今後の方針		
	毎年夏休み期間に中央図書館で開催。 ※2009年度は12名参加	子どもたちが図書館に親しむきっかけ作りとして有効である。		受け入れ枠を拡大できるよう環境整備に努める。		
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		検討・実施	実施	実施	実施	実施
	担当課	図書館		関連課		

12	取組名	文学館の子どもを対象にした講座			体系番号	1-(2)-⑨ 1-(3)-⑤ 1-(4)-③
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	文学館の特徴を生かした、子どもを対象にした講座を実施する。				
	2009年3月までの現況	評価		今後の方針		
	「ことばであそぼう」「絵本といっしょ」など実施。	文学館らしい多彩なプログラムの開発が望まれる。		文学館の特徴を生かした講座の実施。		
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		実施	実施	実施	実施	実施
	担当課	文学館		関連課	図書館	

13	取組名	ヤングアダルト向け新刊図書案内「YA通信」の高等学校への配布			体系番号	1-(4)-④
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	図書館で発行している「YA通信」を市内高等学校に配布することにより情報提供を行い、あわせて図書館を身近なものに感じてもらう。 ※YAとはヤングアダルトの略で、図書館では中高生を指す。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	2009年4月より、一部の市内高等学校(※)に配布開始。 ※都立高3校 私立中・高3校		より多くの子どもたちの目に触れる機会を増やす必要がある。		配布先の開拓に努める。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		推進	推進	推進	推進	推進
担当課	図書館			関連課		

14	取組名	「町田市子ども読書マップ」の作成			体系番号	1-(5)-①
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	図書館は、市内で子どもと本が出会える場所や利用条件を調査し、より分かりやすく工夫した「町田市子ども読書マップ」を作成する。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	未実施		地域で子どもと本が出会える場所の情報が必要である。		「町田市子ども読書マップ」を作成する。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		調査	検討	配布	配布	配布
担当課	図書館			関連課	庁内各課	

15	取組名	市で発行する情報誌の活用			体系番号	1-(5)-②
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	「まちだの教育」や生涯学習課で発行している情報誌「生涯学習NAVI」に子どもの読書に関する情報を掲載していく。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	「広報まちだ」や「まちだの教育」、図書館HPに掲載。		更に情報の掲載先を開拓する必要がある。		「生涯学習NAVI」など、一般情報誌にも掲載していく。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
	検討・配布	配布	配布	配布	配布	
担当課	生涯学習課・教育総務課		関連課	関係各課		

16	取組名	各イベントでの「子ども読書活動」の推進			体系番号	1-(5)-③
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り				
	内容	図書館とボランティアが協働して、各施設で行なわれるイベントに機会を捉えて参加し、本を紹介したり、本のリスト等を配布することにより「子どもの読書活動」を推進する。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	木曾山崎センター・堺市民センターまつりでのおはなし会開催。さるびあフェスタでのおはなし会の開催		いろいろな機会をとらえ、市民に子ども読書活動のPRをする必要がある。		機会を捉えて各施設等で行なわれるイベントに参加する。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
	実施	実施	実施	実施	実施	
担当課	図書館		関連課	子ども総務課(幼稚園)・子育て支援課(保育園)・児童青少年課(学童保育クラブ)		

17	取組名	集中取組の実施			体系番号	1-(5)-④	
	基本目標	子どもが本と出会うきっかけ作り					
	内容	図書館と施設が協働し、1年間集中して取組を行なう。そこで得たノウハウを今後を生かしていく。					
	2009年3月までの現況		評価			今後の方針	
	未実施		短期集中的に関わりあうことで効果や課題を具体的に把握する必要がある。			図書館と施設が協働し、1年間集中して取組を行なう。	
	年度計画	2010年度		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		検討		実施	実施	実施	実施
担当課	図書館			関連課	子ども総務課(幼稚園)・子育て支援課(保育園)・児童青少年課(学童保育クラブ)		

18	取組名	学校図書館の資料の充実			体系番号	2-(2)-② 2-(3)-②	
	基本目標	いつでも身近なところに本がある環境作り					
	内容	学習情報センターである学校図書館の蔵書を充実させる。					
	2009年3月までの現況		評価			今後の方針	
	小中学校における学校図書館図書標準の達成割合は、小学校で93%、中学校で86%である(2008年度)。		学校図書館の蔵書数が図書標準に達していることが望ましい。			学校図書館標準の達成を目指し、毎年度、継続的に蔵書を増やしていく。	
	年度計画	2010年度		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		充実		充実	充実	充実	充実
担当課	学校・教育総務課・指導課(教育センター)			関連課			

19	取組名	学校図書館支援貸出の利用促進			体系番号	2-(2)-③ 2-(3)-③
	基本目標	いつでも身近なところに本がある環境作り				
	内容	図書館は、学校図書館支援貸出の普及に努め、利用校数と貸出件数を増やす。 図書館は、学校が利用しやすいよう、改善に努める。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	2008年度登録は小学校24校、中学校9校 計33校。貸出総冊数 1295冊。		全校登録にすべきである。		学校が利用しやすいよう改善に努め、全校実施を目指す。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		充実	充実	充実	充実	充実
担当課	図書館・学校			関連課		

20	取組名	学校図書館コンピュータシステムの活用			体系番号	2-(2)-④ 2-(3)-④
	基本目標	いつでも身近なところに本がある環境作り				
	内容	各学校が学校図書館コンピュータシステム導入の検討を行い、配当予算内で学校図書館コンピュータシステムを導入する。教育センターでは、コンピュータシステム導入をサポートする。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	学校の配当予算にて導入できるように新コンピュータシステムを選定した。		図書館の効率化を図る上で、コンピュータシステム化されていることが望ましい。		各学校で導入の検討を行い、既導入校での事例を紹介するなど新コンピュータシステムの導入を支援する。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		検討・導入	導入	導入	導入	導入
担当課	学校・指導課(教育センター)			関連課		

21	取組名	小中学校の読書指導の充実			体系番号	2-(2)-⑤ 2-(3)-⑤
	基本目標	いつでも身近なところに本がある環境作り				
	内容	各校の読書指導の取組を調査し、朝の読書活動や読み聞かせ、推薦図書の紹介、本の紹介コーナーの設置等、学校における読書活動の一層の推進を普及・拡充していく。また、学校教育の中での読書活動の位置付けを明確化するため、読書指導計画の作成を促す。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	2007年度「学校における読書活動等の状況に関する調査」読書活動推進の指導計画が、小学校では有が24校、無しが16校であるが内容については把握していない。		各学校の読書活動の取組を把握し、効果的な内容については、全校に呼びかけていく必要がある。		各校の実態を把握し、読書活動の一層の推進を普及・拡充していく。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		調査・検討	検証・充実	検証・充実	検証・充実	検証・充実
担当課	学校・指導課		関連課	図書館		

22	取組名	図書館の児童資料の充実			体系番号	2-(5)-①
	基本目標	いつでも身近なところに本がある環境作り				
	内容	新刊本の購入、傷んだり古くなった本の買換えを行い図書資料の充実を図る。また、学校支援貸出や調べものに対応できる様に情報収集を行い資料の収集に努める。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	児童書の蔵書数 231,169冊 (2008年度現在) 市内0~18才の人口 72,865人 (2009年12月現在) 3.1冊/人		子どもたちにとって必要な資料があること、学校図書館支援貸出に対応できる蔵書構成になっていることが望ましい。		子どもたちや学校のニーズを把握し、魅力ある図書構成、資料の充実に努める。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		充実	充実	充実	充実	充実
担当課	図書館		関連課			

23	取組名	障がいのある子へのサービス			体系番号	2-(5)-②
	基本目標	いつでも身近なところに本がある環境作り				
	内容	1 点字資料、布の絵本、録音テープなどの収集。 2 すみれ教室とさるびあ図書館が協力して、発達に障がいのある子に対しての資料のあり方や読み聞かせの取組を行なう。 3 支援学級・支援学校の見学の受け入れ。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	支援学級・支援学校の見学を受け入れている。点字絵本・触る絵本の購入をしている。		サービスの内容について、関連施設と調整し、よりニーズにあったものにする必要がある。		資料の購入を継続して行なう。すみれ教室とさるびあ図書館が協力して取組を行う。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		検討	実施	実施	実施	実施
担当課	図書館		関連課	すみれ教室		

24	取組名	外国語を母語とする児童向け資料の充実			体系番号	2-(5)-③
	基本目標	いつでも身近なところに本がある環境作り				
	内容	外国語を母語とする児童に必要な資料の充実を図る。潜在的なニーズや入手方法の把握に努める。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	外国語の児童書数 3908冊 (2009年12月現在)		潜在的なニーズや入手方法の把握が必要。		資料の充実を図る。潜在的なニーズや入手方法の把握に努める。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		充実	充実	充実	充実	充実
担当課	図書館		関連課			

25	取組名	学校支援ボランティア(図書指導員)の活動の充実			体系番号	3-(1)-① 3-(2)-①
	基本目標	子どもの本に関わる人の配置と育成				
	内容	学校図書館の運営の充実を図るために、学校支援ボランティア(図書指導員)の活動の充実に努める。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	全校の学校図書館に学校支援ボランティア(図書指導員)が参画している。		全校の学校図書館に学校支援ボランティア(図書指導員)がいることが望ましい。		全校の学校図書館に学校支援ボランティア(図書指導員)がいることを継続するとともに、活動の充実に努める。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		充実	充実	充実	充実	充実
担当課	学校・指導課			関連課		

26	取組名	学校図書館運営の研修			体系番号	3-(1)-② 3-(2)-②
	基本目標	子どもの本に関わる人の配置と育成				
	内容	司書教諭や図書指導員を対象に、入門編と中級編のプログラムに分けて研修を行なう。学校図書館の運営について資料の購入から貸し出しまで総合的に学べる研修にする。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	学校図書館担当者を対象の研修を5月に、司書教諭を対象の研修を8月に行っている。		受講者の習熟度に合わせた研修が必要である。		入門編、中級編に分け、研修を実施する。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		実施	実施	実施	実施	実施
担当課	指導課(教育センター)・図書館			関連課	学校	

27	取組名	新任教諭への図書館研修			体系番号	3-(1)-③ 3-(2)-③
	基本目標	子どもの本に関わる人の配置と育成				
	内容	指導課は、初任者研修の1コマに図書館を会場として使い、さらに資料の使い方や利用法などを研修する。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	未実施		調べ学習などの授業へのより効果的な利用へつなげるため研修が必要である。		新任教諭に対して図書館見学会などを行い図書館を知ってもらい、今後の授業に役立つよう研修を行なう。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		検討・実施	実施	実施	実施	実施
担当課	指導課・図書館			関連課	学校	

28	取組名	市民に向けた「子どもの本の講座」開催			体系番号	3-(3)-①
	基本目標	子どもの本に関わる人の配置と育成				
	内容	図書館、文学館、公民館では、絵本の紹介や、絵本の読み方等を内容とした「子どもの本に関する講座」を開催する。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	図書館では数年おきに市民向け講座を開催している		継続して講座を開く必要がある。		図書館、文学館、公民館で、「子どもの本に関する講座」を実施していく。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		検討	実施	実施	実施	実施
担当課	図書館・文学館・公民館			関連課		

29	取組名	子どもに関わる施設職員への研修			体系番号	3-(3)-②
	基本目標	子どもの本に関わる人の配置と育成				
	内容	図書館は、子どもに関わる施設職員・ボランティアを対象に、読み聞かせ講座や本の紹介、本の整理の仕方などの研修を行うため、プログラム作りや講師を育成するなどの環境整備を行う。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	2007年に図書館で市民と保育士対象の講座を試行した。		子どもに関わる施設職員・ボランティアへの定期的な研修が必要である。		定期的な研修の実施に向けた環境整備を行う。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		検討	実施	実施	実施	実施
担当課	図書館			関連課	子ども総務課(幼稚園)・子育て支援課(保育園)・児童青少年課(学童保育クラブ)	

30	取組名	図書館おはなし会ボランティアの養成			体系番号	3-(3)-③
	基本目標	子どもの本に関わる人の配置と育成				
	内容	図書館は、現在活動中のボランティアと協働して、乳幼児向けおはなし会のボランティアを養成する講座と、おはなし会のボランティアを養成する講座を開催する。また、公民館、文学館でも開催を検討する。				
	2009年3月までの現況		評価		今後の方針	
	図書館のおはなし会で活動するボランティアの養成を行っている。		今後の事業の拡大に向け、引き続きボランティアの育成を図る必要がある。		図書館での継続を図るとともに、公民館、文学館でも開催を検討する。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
		実施・検討	実施・検討	実施	実施	実施
担当課	図書館・公民館・文学館			関連課		

31	取組名	「子ども読書活動推進窓口」の設置			体系番号	3-(3)-④	
	基本 目 標	子どもの本に関わる人の配置と育成					
	内 容	日常的に子どもの読書活動推進を行なうため「子ども読書活動推進窓口」を図書館内に設置する。窓口では、子どもの読書に関する情報センター、ボランティアのサポートとコーディネーター的業務を行なう。					
		評価			今後の方針		
		必要に応じて職員が調整している。	日常の計画推進のための窓口（ボランティアにも対応）を設け、市民がいつでも利用できるようにする必要がある。			図書館に「子ども読書活動推進窓口」を設置する。	
	年度計画	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
		検討	設置	実施	実施	実施	
担当課	図書館			関連課			